

一般缶連合会 第34回定時総会を開催

需要喚起の活動に重点を置く
事業方針を決定

全日本一般缶工業団体連合会は6月15日、東京・神田佐久間町の第7東ビルで第34回定時総会を開催した。出席者は15名。志賀正人理事の司会で進行し、渋谷明彦副会長が開会の辞を述べたあと、定村光会長は「昨秋、鉄鋼新聞のインタビューを受けた際に、来年は震災の復興ムードで一般缶業界も明るくなるだろうと楽観論を述べた。しかし会員各社に行った景気動向等アンケートや鉄鋼月報を見ると回復には程遠い数字が出ている。6月に入りギフトシーズンを迎えているが、静かで盛り上がり欠ける様相である。現執行部の残す任期は1年。今年度に掲げた事業方針を着実に実行していきたい」と挨拶した。次いで定村会長が議長となり議案審議を行い、提出議案は原案通り承認された。最後に西日本、中部、東日本の各理事長から近況報告があり、池田祥三副会長の閉会の辞で終了した。

「提出議案」
①平成23年度事業報告書及び決算関係書類承認の件
②平成24年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件
③全日本一般缶PR活動推進協議会の件

◆平成24年度事業方針◆

当連合会は、一般缶の優れた特性を積極的にPRすることで、広く一般缶の需要を喚起する活動に重点を置きながら、諸事業を実施してまいります。

第一に、展示会への出展では、平成22年10月に初出展を果たした「東京国際包装展」に本年、再度出展し前回以上の成功を収めるよう、全力投球してまいります。

第二に、ホームページを全面リニューアルします。ホームページは、あらゆるPR媒体に先立つ重要な情報発信ツールです。当連合会のホームページは平成10年10月に立ち上げ、平成17年3月にリニューアルしましたが、その構成やSEO対策も日々進歩しているため、現状のサイト内容を一新し、一般缶の素晴らしさを伝えやすいホームページにします。

第三に、当連合会の財政再建に取り組んでまいります。長年にわたる実質の赤字体質から脱却するために、経費の削減と収入財源の見直しを検討していきます。



総会終了後の記念撮影

NEWS! 一般缶連合会がホームページを全面リニューアル!!



より見やすく「一般缶」をアピール

全日本一般缶工業団体連合会は平成24年7月にホームページを全面リニューアルした。

メインメニューをシンプルにし、サイドメニューを充実強化し、より見やすく、デザイン、内容を整え、「一般缶」のすばらしさをアピールした。また、スマートフォンでも見やすくし、会員所属会社のビジネスにも役立つよう、工夫を凝らした。

各組合通常総会報告

■東日本一般缶工業協同組合

東日本一般缶工業協同組合は5月25日、東京都鉄二健保会館で第34回通常総会を開催した。出席者は書面を含め41名。古茂田隆文理事の司会で進行し、広浜泰久副理事長が開会を宣し、定村光理事長が挨拶したのち議長となり(1)平成23年度事業報告書及び決算関係書類承認の件(2)平成24年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件(3)借入金残高の最高限度決定の件が上程され、いずれも原案通り承認された。志賀正人副理事長の閉会の辞で終了した。

■西日本一般缶工業協同組合

西日本一般缶工業協同組合は5月24日、大阪市北区のANACPホテルで第44期定期総会を開催した。出席者は委任状を含め24名。事務局が開会を宣し、渋谷明彦理事長が挨拶したのち議長となり(1)平成23年度事業並びに決算報告書の承認の件(2)平成24年度予算案並びに事業計画承認の件が上程され、いずれも原案通り承認された。辻亘彦副理事長の閉会の辞で終了した。

■中部製罐工業協同組合

中部製罐工業協同組合は5月23日、名古屋市の名古屋国鉄会館で第62回通常総会を開催した。出席者は委任状を含め8名。事務局が開会を宣し、池田祥三理事長が挨拶

「富山・金沢研修旅行」 異業種だからこそ参考になった ダイトの工場見学

「富山・金沢研修旅行」
異業種だからこそ参考になった
ダイトの工場見学

（株）江連金属印刷所 江連

平成24年3月2日～3日、一般缶友会富山の製菓メーカー、ダイト株式会社社長の工場見学に製缶メーカー13名、材料メーカー2名、印刷メーカー5名、機械メーカー1名、化学メーカー1名の計22名で行ってまいりました。

ダイト様は市販薬、ジェネリック薬品、医薬品原料、医薬品添加剤、食品添加剤、健康食品素材等々幅広く取り扱っている総合薬品メーカーで、ジェネリック薬品を中心に今後も成長が期待される分野の先頭にあつている印象を受けました。

工場は市販薬製造工場と医薬品原料工場とが別になっていて残念ながら市販薬工場は見学できず、医薬品原料工場を見学させていただきました。

薬品という高品質が要求される品物を製造しているだけあり製造時の衛生面、原料したのち議長となり(1)平成23年度事業報告、収支決算報告及び剰余金処分案の件(2)平成24年度事業計画案及び収支予算案の承認に関する件が上程され、いずれも原案通り承認された。石川博章副理事長の閉会の辞で終了した。

の入出荷、在庫面の徹底した管理が見えるようにわかりました。

一つの薬品を開発、完成に至るまでの長い道程は並大抵のことではないと思われる。私達が普段服用している薬品のありがたみを実感させられました。

毎年、一般缶友会の研修旅行では全国各地の優良企業の工場を見学させていただいておりますが、我々とは業種は違っても物作りという観点から、省エネルギー化、省人化、等々参考になるものがあると考えさせられました。

東日本一般缶工業協同組合 分科会レポート

「はじめてのプラスチック製品設計」に参加して

平成24年2月22日、分科会では他容器との融合、可能性をファーストステップと見据え、墨田区文化のすみだ中小企業センターのご協力により、伊藤技術相談員による技術講習会「はじめてのプラスチック製品設計」に10社21名で参加しました。

はじめに、プラスチックの製品設計にあたり、社会的に要求される使用環境やデザイン・色調・重量・価格・耐久性をはじめ、

古茂田製罐(株) 古茂田隆文

製品の安全性・有害化学物質の非含有(輸出处)・コストダウンに至るまでプラスチック製品の概念について話されました。つぎに、ユーザーからの要求仕様(図面・価格・納期)に対して、適切な材質選び、金型の製作、成形機と加工条件、成形法による様々な材質の特性や成形法について解説されました。

質疑応答の中で、プラスチック製品の印

一般缶リーフレットを一新

一般缶連合会

このほど、全日本一般缶工業団体連合会は需要家や一般消費者向けに、「一般缶」をより一層、分かりやすい内容でデザインも一新したPR用リーフレットを作成した。



刷には、塗装・めつき、スクリーン印刷、シリコンゴムのタンポ印刷、レーザー印刷などがあり、また、色付けした製品との組み合わせ印刷する方法も可能であることが分かりました。

講習を振り返って、プラスチック製品は社会的な要求に対し材料、仕入れ、加工などの選択肢が豊富で、パッケージとして柔軟で幅広い可能性があり、エコロジー性を上回る魅力的要素があると感じました。

分科会レポート②

「営業力強化研修」に参加して

日進製缶株式会社 小黒保満

平成24年7月4日に秋葉原の東京都中小企業振興公社で行われた分科会主催による「営業力強化研修」に参加しました。講師はコミュニケーションアカデミーの山本宣博先生。参加者は13社21名。研修は①営業担当者の心構え②営業スタイルの振り返り③顧客研究④商談・交渉技術⑤売上向上の商談展開⑥商談成立技法⑦まとめの順に、午前9時半から午後5時まで行われました。研修の中では参加者から活発な意見も出されました。まとめとして、営業マンは前向き志向な人間であることが大切で、明るく自信をもって日々生活して行動することが基本であると認識しました。今回、若い営業マンの皆さんと一緒に勉強する機会に接し、一般業界が将来に向けて発展していく気力を感じました。

西日本一般缶工業協同組合 合同部会・技術交流会の「研究発表会」

回転刃の寿命延長方法が明らかに！

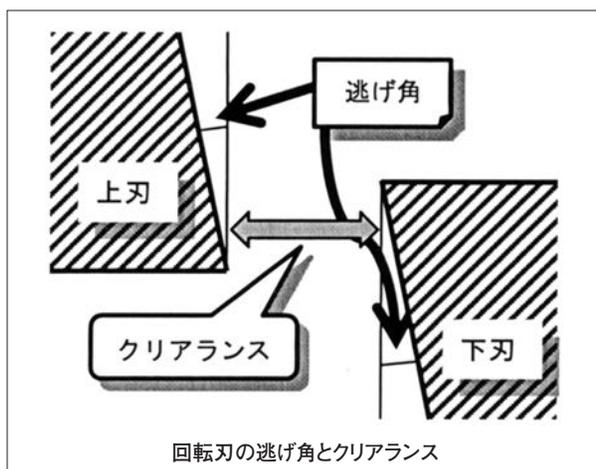
西日本一般缶工業協同組合は平成24年1月26日、ホテルアウイーナ大阪で平成23年度の合同部会・技術交流会の研究発表会を開催した。

テーマ1 スリッターの回転刃の研磨と刃先寿命の関係。発表者は明和金属工業(株)水課長、中山部長

発表内容 製缶の主材料であるスズめつき鋼板は一般に回転刃を用いたスリッターによって切断される。今日では小ロット・多品種生産が日常的であり、スリッターの型替えは非常に多く、スリッターの回転刃の品質向上が必要不可欠となっている。この回転刃刃先の設定及び摩耗は、缶の品質を左右するため、極めて重要である。そこでスリッターの回転刃刃先の設定と刃先寿命について検討を行った。これまで、スリッターの回転刃の最適切断条件は作業者の経験によって求められてきており、その設定は不明な部分も多かったが、研究の結果、次の条件を満たすことにより回転刃の寿命を延ばせることが明らかになった。

- ① かみこみ角度は4度とする。
- ② 刃先逃げ角は1.30'が最適である。
- ③ ①と②は、スリッターで使用する全上下刃とも揃える。
- ④ クリアランスは板厚の10%とする。

さらに、カッター刃先のこれらの条件が摩耗を抑え刃先の寿命を延ばすことによつて、作業性の向上と品質の安定が図られ、また今後の新素材やゲージダウンにも対応可能である。



回転刃の逃げ角とクリアランス

テーマ2 会社が抱える問題点及び業界についての意見交換

- ① 会社が抱える問題点について
 - ・クレームが起きないように最善を尽くす。
 - ・人材育成も考えていかなければならない。
- ② 現在の業況と業界の今後について
 - ・厳しい状況が続いているが、技術力、開発力で対応を考えたい。



熱心に説明を聞く参加者の皆さん

- ③ 新製品開発について
 - ・各社で工夫して、新規の取組みを図っている、エコに対応、缶の見た目の良さを考えて新規の企画等を進める。
- ④ 技術交流会の継続について
 - ・製造関係の技術に関する技術部会を設置して欲しい。
 - ・再度、各社による技術交流会を開催してはどうか。
 - ・製造関係同志の話合いの必要性がある。
- ⑤ 組合への要望事項について
 - ・組合が色々な課題の中継役を担って欲しい。
 - ・昨年の震災を踏まえてのボランティアとして貢献できる、例えば、絆を育んだマークなども検討してはどうか。

未来に向けた数々の提言に参加者の熱い関心

東日本一般缶工業協同組合

「もっと知ろう、もっと使おう」一般缶「フォーラム2012」

東日本一般缶工業協同組合は平成24年7月11日、東京・港区の浜松町東京會館で「もっと知ろう、もっと使おう」一般缶「フォーラム2012」を開催した。会場を埋めた124名の参加者は熱心に耳を傾けた。産業考古学会評議員の多田統一氏が「一般缶業界の活性化と消費拡大PR」、東日本一般缶工業協同組合市場開拓調査委員会委員長の志賀正人氏が「同委員会の中間報告」と題して基調講演したのち、4人の識者が、コーディネーターの広浜泰久氏のもと、「一般缶がひらく未来」をテーマにパネルディスカッションを行った。(司会は神宮善太郎・榊神宮製作所代表取締役)

広浜 昨年の一般缶出荷量は平成2年のピークから36%も減少。減り続ける原因や対策について改めて議論したことがない。本日のフォーラムで現状打破のヒントになればと思う。

広浜 一般缶業界の可能性について。

窪木 製缶に金属印刷、絞りの技術を組み合わせた形の新たな取組みを期待したい。また人材育成事業も重要な柱となるが、国等の施策ツールを活用してほしい。

広浜 ズバリ、ユーザーとしてのご提言を。

高橋 技術的イノベーションは基礎技術の組み合わせだ。要求された無理難題を本気でできると思った人が「カベ」を打ち破れると思う。一般缶は「折り畳めない」「潰せない」という固定概念が一般的にあるが、例えばゼンマイの反発力の技術や錫の柔らかさ等応用してできないかといった発想をしていかないと、このカベは超えられない。

広浜 一般消費者の立場から一般缶のご感想を。

永園 家の中にある缶を数えたら40個以上あった。缶が私達の生活の中に浸透している。いつでも簡単に捨てられる状況が街の中にできればいいと思う。缶の再利用には学校での教育も必要なのでは。

広浜 中小企業組合士としてのアドバイスを。

永園 一般缶の技術を含めた「歴史的なもの」を保存し次代に伝えていくことも組合の使命。また組合活動に女性の積極的な参画を期待する。

広浜 学校現場の立場からご提言を。

多田 一つ目に、一般缶をリターナブルの視点で見直せないか。コスト面で経営的難点はあるがマスコミによる宣伝効果が期待できる。視点を変えて、貯金箱や筆箱の中にお菓子が入っていてもいいのでは。缶は、生徒に聞くと食べるまではすばらしいが食べ終わったらゴミになると言う。そのゴミが即貯金箱や筆箱に使えれば、リサイクルの立場からリターナブルになるのでは。二つ目に、「形は文化」という視点で一般缶を

アピールできないか。例えば北陸のお茶缶は胴の寸法が径より短く、これが北陸文化だ。東京ならスカイツリーをまねて円錐形で東京文化を発信する。三つ目は、学校の総合学習の場で工場見学など学校教育との連携を試みたらどうか。

広浜 一般缶業界に期待することは。

窪木 製缶や金属印刷の技術面での集大成が必要だ。業界として売上高等の数字をきちんと把握することも先決。缶の特性をもっと深く掘り下げてみる。缶には必ず中身があるが、例えば富士山の空気や水を入れた缶を作るとか、新しい用途や地域との関わりをもった商品開発を行いビジネスチャンスに結びつけることが重要だ。

高橋 プリキの錫メッキされている特性を一般消費者にアピールすることがマーケティング手法の1つだ。さらに画期的な食品容器づくりが望まれる。鉄の酸化に対する技術を応用した商品に「ホカロン」があるが、これをヒントに「発熱容器」を本気で検討するメーカーがあってもいいのでは。もう一つ、外からの脱酸素剤は不要で長期間にわたって酸素を吸収していくプリキ製「脱酸素容器」を開発できないか。金属の未来予測として、電氣的刺激で急に柔らかくなる素材が出てくるだろう。技術革新は基本的技術の組み合わせの延長線上にあるので一般缶業界の特殊技術をもっと突きつめて考えることが肝心。この技術をもっとこれまで全く付き合っていない業界に自分たちの生きるすがすがしいかを洗い出してみる。ガラス、プラスチック、紙、布といった他素材の基礎技術との組み合わせで新しいものが生まれる可能性がある。

製缶や金属印刷の技術面での集大成が必要 窪木氏

缶自体に価値を見出せる商品づくりを 多田氏

固定概念を打ち破り画期的な容器づくりを 高橋氏

缶の再利用には学校での教育も必要では 永園氏



4人の識者が活発に発言



多くの参加者が熱心に耳を傾けた

永園 例えば子供が作った俳句を印刷するとか、楽しめる缶になっていて、他容器と比べても缶の方を買いたくなるような商品開発を望む。組合員各社が一般缶製品を伝統的工芸品にまで高めていくという意識を組合に集中することも必要だ。

多田 中身が入ってなくても缶自体に価値を見出せる商品づくりを期待する。従来、缶メーカーはユーザーの要望を聞き、細かな配慮をしながら控えめな経営の視点で缶をつくってきた。こうした経営者意識を今後どう転換していかるか、非常に重要な問題だ。新しい缶デザインを逆にユーザーにアピールし提案するなど積極的経営ができていくか。防災対策の視点から、例えば保存期限が4年ほどの倉庫機能を備えた食品用など、新たな缶の開発提言もぜひとも必要だ。

●窪木建二(くぼき けんじ)氏

1963年東京都生まれ。1987年慶應義塾大学文学部卒。同年4月東京通商産業局(現関東経済産業局)入局。同局産業部製造産業課課長補佐。

●多田統一(ただ どういち)氏

1952年徳島県生まれ。東京都立大学大学院理学研究科修士課程地理学専攻修了。産業考古学会評議員。

●高橋和良(たかはし まさよし)氏

1953年東京都生まれ。1976年明治大学農学部農芸化学科卒。エスビー食品株式会社管理部上席マネージャー、スポーツ推進局担当。

●永園愉美子(ながぞの ゆみこ)氏

栃木県生まれ。栃木県立足利高等学校卒。1男1女の主婦。東京都中小企業組合士協会常任理事、女性部長。

●広浜泰久(ひろはま やすひさ)氏

1951年東京都生まれ。1974年慶應義塾大学経済学部卒。東日本一般缶工業協同組合副理事長。株式会社ヒロハマ代表取締役会長。

「心機一転、会社発展に貢献したい」受賞者の声

東日本一般缶工業協同組合 第32回優良従業員表彰式

東日本一般缶工業協同組合は平成24年2月24日、東京・中央区の明治座で第32回優良従業員表彰式を開催した。組合員各社から推薦された優良従業員14名を表彰した。

表彰式は久保田裕美担当委員の司会で進行。広浜泰久副理事長の開会の辞のあと、挨拶に立った定村光理事長は、二・二六事件で青年将校に暗殺された高橋是清の「ベストを尽くすな」という言葉を引用し「仕事も全力を尽くすのではなく、常に余裕、余力をもつことが肝心。厳しい状況が続く一般缶業界ですが、これから企業の生き残りを図るには、皆さん方の知恵が是非とも必要になってきます。この知恵も余裕、余力のある人から出てくるもの。どうか新しい発想やアイデアで会社発展の原動力となっていたください」と激励した。

続いて同理事長から受賞者一人ひとりに表彰状と記念品が授与され、代表して金方堂松本工業(株)の竹祐一課長が「本日、理事長表彰の栄に浴し、喜びと感激のほかありません。今後とも業界発展のため微力ながらなお一層努力する覚悟です」と謝辞を述べた。司会者より祝電が披露され、最後に加島裕理事が閉会の辞を述べ、記念撮影のち表彰式は終了。その後は明治座での「五木ひろし特別公演」を楽しんだ。

今回、受賞の方々に感想を伺ったところ、次のようなコメントが寄せられた。

▼初めての経験で緊張しながらも楽しい時間が過ごせた。
▼今後も社会に貢献できるように働いていき

たい。
▼これからも努力して10年後、20年後にまた表彰されるよう頑張りたい。
▼これからも努力して頑張っていこうという気持ちになった。

▼今後も優良従業員の名に恥じぬよう「余裕」をもって努力していきたい。
▼表彰されて気持ちも改まり仕事に対する意欲も変わってきた。
▼受賞を機に新たに気を引き締め少しでも業界に貢献できるよう努めていきたい。
▼受賞を心の支えとして、また心の糧として会社の発展のために貢献していきたい。



挨拶を述べる定村理事長と受賞者の方々

一般缶連合会

一般缶の優位性PR、需要喚起のため 今年も2大展示会に出展へ!

展示会名	2012東京国際包装展	エコプロダクツ2012
会期	平成24年10月2日(火) ～5日(金)4日間	平成24年12月13日(木) ～15日(土)3日間
会場	東京ビッグサイト東ホール全館	
特徴	昭和41年の第1回から隔年で開催。今回で24回目を迎え、包装資材・容器、包装機械を中心に、調達から生産、物流、販売、消費、廃棄・リサイクルに至るまでのあらゆる分野を網羅し、国内はもとより世界中から多くの包装関係者が一堂に集まる国際総合包装展。前回の来場者は17万人。	環境への関心の高いビジネスパーソン、一般消費者、行政・自治体など、環境を取り巻く社会の様々なステークホルダーが一堂に集う日本最大級の環境展示会。昨年の来場者は18万人。昨年同様、スチール缶リサイクル協会、全国十八リットル缶工業組合連合会との共同出展。

平成23年12月から平成24年3月までの一般缶生産出荷実績

(単位:ト)

	年月	生産	出荷		在庫
			販売	その他	
経済産業省データ	23.12	7,007 (7,389)	7,096 (7,272)	103 (179)	7,010 (6,787)
	24. 1	5,672 (6,228)	5,950 (5,795)	152 (85)	6,448 (6,991)
	2	7,439 (6,998)	6,002 (6,284)	82 (146)	8,775 (7,574)
	3	6,303 (6,933)	6,523 (6,895)	104 (167)	8,567 (7,439)
連合会データ	23.12	4,357 (4,687)	4,509 (4,917)		3,576 (3,524)
	24. 1	3,526 (3,786)	3,437 (3,586)		3,637 (3,715)
	2	3,875 (3,668)	3,732 (3,519)		3,744 (3,639)
	3	4,025 (3,995)	3,990 (3,753)		3,760 (3,779)

()内は前年同月実績

経済産業省経済産業政策局調査統計部缶工業動態統計室編(鉄鋼統計月報より)

◆西日本一般缶工業協同組合

缶友会ゴルフ会

平成24年5月17日大阪府の枚方カントリ倶楽部で、晴天の下、第139回のゴルフ会を開催した。

上位の入賞者は次の通り。

優勝 武田和久(三幸商事)

二位 山田 稔(富安)

三位 渡邊静雄(江戸川製罐工業)

37・42・79・4・75

43・44・87・15・72

35・39・74・6・68

*プレー終了後の会食で、本缶友会ゴルフの歴史を紐解き、第1回は、昭和45年(1970年)8月に今回の枚方カントリー倶楽部で催されたこと、現在まで、第139回、42年の歴史が紹介された。

次回は平成24年10月の予定。

◆東日本一般缶工業協同組合

第52回 春のCPSSM会

第52回CPSSM会を平成24年4月18日、取手国際ゴルフ倶楽部で開催した。今回の参加者は25名。

成績は次の通り。

優勝 松村善治(松村製罐)

二位 高橋昭紀(江東堂高橋)

三位 仲由一樹(大日製罐)

45・48・93・17・76

52・46・98・22・76

47・49・96・17・79

今回のプレーは秋を予定。

次回のプレーは秋を予定。

平成24年2月から7月までの行事

【東日本一般缶工業協同組合】

2/8 市場開拓調査委員会

- 2/16 分科会幹事会
- 2/22 分科会「技術講習会」
- 2/24 第32回優良従業員表彰式
- 3/5 三役打合せ
- 3/8 市場開拓調査委員会
- 3/9 第7回理事会(役員会)
- 3/12 東京中央会「情報連絡員報告会」
- 3/14 分科会幹事会
- 3/15 市場開拓調査委員会
- 3/27 第8回東日本一般缶PR活動推進協議会
- 4/3 市場開拓調査委員会
- 4/5 CPSSM会打合せ
- 4/16 「一般缶フォーラム2012」検討会議
- 4/17 会計監査
- 4/18 第52回CPSSM会
- 4/20 第1回理事会(役員会)
- 4/24 分科会幹事会
- 4/28 「一般缶フォーラム2012」パネリストとの打合せ
- 5/7 東京都中小企業組合士協会
- 5/18 「第37回通常総会」
- 5/24 東京中央会「第60回通常総会」
- 5/25 第2回理事会(役員会)
- 5/25 第34回通常総会
- 6/13 「一般缶フォーラム2012」パネリストとの打合せ
- 6/14 市場開拓調査委員会
- 6/18 東京都経営支援課「業種別団体情報連絡会」
- 6/20 「一般缶フォーラム2012」パネリストとの打合せ
- 6/20 東京中央会「組織委員会」
- 6/20 東京中央会「役員・評議員合同会議」
- 6/28 東京中央会「役員・評議員合同会議」
- 7/4 分科会「営業力強化研修」
- 7/11 第3回理事会(役員会)
- 7/11 「一般缶フォーラム2012」
- 7/23 「西日本一般缶工業協同組合」役員会
- 8/17 缶友会ゴルフ

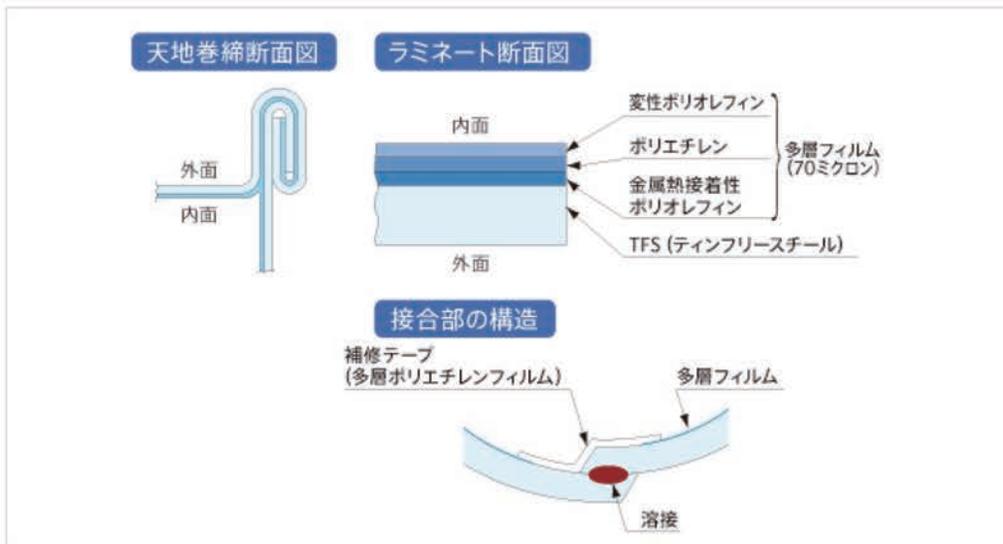
- 5/24 第44期定時総会
- 【全日本一般缶工業団体連合会】
- 2/1 鉄鋼製品団体協会新年会
- 3/9 役員会
- 3/22 スチール缶連絡協議会
- 4/2 経済産業省鉄鋼課「職員異動歓迎会」
- 5/25 会計監査
- 6/15 第34回定時総会
- 6/15 第1回全日本一般缶PR活動推進協議会
- 6/19 鉄鋼製品団体協会「第50期通常総会」
- 7/6 経済産業省鉄鋼課「鉄鋼製品業況ヒアリング」
- 7/19 「2012東京国際包装機械展」出展者説明会
- 7/25 スチール缶連絡協議会
- 【二般缶缶友会】
- 3/23 研修旅行「富山市・ダイト(株)工場見学」
- 7/23 理事会
- 【東日本一般缶工業協同組合】
- 9/11 第4回理事会(役員会)
- 11/16 第5回理事会(役員会)
- 1/18 第6回理事会(役員会)
- 【西日本一般缶工業協同組合】
- 8/3 役員会
- 10/4 4S会
- 10/12 全国流通委員会・部会協議会
- 10/25 缶友会ゴルフ
- 12/7 役員会
- 【全日本一般缶工業団体連合会】
- 10/25 全国流通委員会・部会協議会
- 10/25 「2012東京国際包装展」
- 10/12 全国流通委員会・部会協議会
- 10/12 第2回全日本一般缶PR活動推進協議会
- 12/13 「エコプロダクツ2012」

- 1/18 第3回全日本一般缶PR活動推進協議会
 - 1/18 平成25年新年賀詞交換会
 - 【二般缶缶友会】
 - 8/28 平成23年度通常総会
- 組合伝言板**
- 《社長交代》
 - (東日本組会) 中川製罐(株) 代表取締役社長 中川太郎 平成24年3月
 - 進和製罐(株) 代表取締役社長 海老塚真一 平成24年5月
 - (東日本協力会員) 富安(株) 代表取締役社長 伊東潤一 平成24年6月
 - (西日本組会) 日西製罐(株) 代表取締役社長 矢谷満里子 平成24年4月
 - (有)山野初製缶所 代表取締役 木下光美 平成24年4月
 - (西日本組会) 顧問会社代表者交代 東洋製罐(株)滋賀工場 工場長 大須賀広志
 - 《組合員加入》
 - (東日本組会) 善友金属(株)東京営業所 東京都千代田区神田司町二一九一四 K S司町ビル2F 電話 〇三(五二八)五五七五 FAX 〇三(五二八)五五七八 平成24年4月1日
 - 《組合員脱退》
 - (東日本組会) 江東製罐(株) 平成24年3月31日

耐食性に優れたラミネート缶

ラミネート缶とは、ティンフリー鋼板又はブリキの内面側にフィルムをラミネートして製缶した容器です。フィルム同士を熱融着させるため天地撒き締め部・サイドシーム部が完全に袋状となり、接着材を使用する必要はありません。内容物を使い終わった後、金属スクラップとして廃棄処理が可能です。

ラミネート缶の構造 (資料提供 大日製罐株式会社)



【用途】

界面活性剤・塗料・薬品・シリコン・アルコール・染料・食品・食油・食品添加物・油脂類・果汁・農薬・顔料・乳酸などの耐内容物性に優れています。

一般缶では、食品缶、菓子缶、スプレー缶、金属製キャップなどに使用されています。

【特徴】

- 鉄の腐食防止に優れています。
- 加工での潤滑を補助します。
- 電気を通しにくいです。
- 表面に光沢があります。
- 塗装工程が不要です。
- 塗装工程で発生するCO₂を低減できます。
- ラミネート樹脂に環境ホルモンを含みません。
- 飲料容器、食品容器に適用する場合、洗浄工程が不要です。(引用：東洋鋼板HP)



平成24年4月1日

一般缶の良さ・楽しさを発信します。

全日本一般缶工業団体連合会 優CANレポート 第33号

暑中お見舞

申し上げます

(順不同)

東京都鋳力地金商業協同組合

理事長 高野栄三

東京都中央区日本橋大伝馬町一七
電話 〇三(三六六三)八三五七
FAX 〇三(三六六三)八三五八

金方堂松本工業株式会社

代表取締役社長 竹内雅夫

東京都台東区東上野一―二八―二
電話 〇三(三八三一)一一九一
FAX 〇三(三八三一)七一一四
e-mail: tokyo-eigyuu@kimpodo.co.jp

中川製罐株式会社

代表取締役 中川太郎

東京都文京区湯島三一六―一三
電話 〇三(三八三六)〇六九一
FAX 〇三(三八三六)〇六九三
e-mail: info@nakagawa-can.co.jp

平和製罐株式会社

代表取締役 中田成一

大阪府泉南市りんくう南浜三一七
電話 〇七(二四八二)〇一〇〇
FAX 〇七(二四八二)〇一〇一五
e-mail: info@heiwa-seikan.co.jp

全日本一般缶工業団体連合会

会長 定村 光

副会長 渋谷明彦
副会長 池田祥三
東京都台東区浅草橋五一―四―五
ハシモトビル8F
電話 〇三(三三六六)七三三八
FAX 〇三(三三六六)九三三五

全日本金属印刷工業協同組合連合会

会長 中田正和

東京都墨田区業平一―二―六
本所ビル二階
電話 〇三(三六二六)二四一一
FAX 〇三(三六二六)二五〇一
e-mail: info634@tokyo-metallicprinter.org

齋藤製罐株式会社

代表取締役社長 齋藤光由

神奈川県横浜市瀬谷区本郷一―四六―八
電話 〇四五(三〇一)五九一一
FAX 〇四五(三〇一)五九三五
e-mail: info@saitoseikan.co.jp

日進製缶株式会社

代表取締役 小黒保満

埼玉県八潮市南後谷五〇―八
電話 〇四八(九三三)三五六一
FAX 〇四八(九三三)一八四九
e-mail: nixtusin@maple.ocn.ne.jp

生野金属株式会社

代表取締役 小西克彦

大阪府高石市高砂三―二―四
電話 〇七(二二六八)〇七七七
FAX 〇七(二二六八)〇七八二
e-mail: info@ikuno.co.jp

東日本一般缶工業協同組合

理事長 定村 光

東京都台東区浅草橋五一―四―五
ハシモトビル8F
電話 〇三(三三六六)七三三八
FAX 〇三(三三六六)九三三五

寺島製缶工業株式会社

代表取締役 定村 光

東京都葛飾区立石二―二五―一
電話 〇三(三六九三)〇八四一
FAX 〇三(三六九四)七七五九

株式会社神宮製作所

代表取締役 神宮善太郎

千葉県野田市上三ヶ尾二六―一
電話 〇四(七二二)一一二六一
FAX 〇四(七二二)三三三七
e-mail: jingu@fondo.ocn.ne.jp

水戸部製缶株式会社

代表取締役 水戸部武寿

東京都千代田区神田和泉町一番地
電話 〇三(三三八六)一一一六六
FAX 〇三(三三八六)一一三八八
e-mail: sales@mitobe.co.jp

江戸川製罐工業株式会社

代表取締役 渡邊静雄

大阪府大阪市鶴見区今津北
電話 〇六(六九六八)六七一三八
FAX 〇六(六九六八)三二五八

西日本一般缶工業協同組合

理事長 渋谷明彦

大阪府大阪市北区天神橋二―四―一七
千代田第一ビル10F
電話 〇六(六三三三)一九七三
FAX 〇六(六三三三)一九六七

株式会社ヒロハマ

代表取締役社長 本多三郎

東京都墨田区石原二―二八―一
電話 〇三(三六二五)一六八〇
FAX 〇三(三六二五)一六八八
e-mail: y-hirohama@cap-hirohama.com

杉浦製罐株式会社

代表取締役 杉浦由記夫

茨城県守谷市百合ヶ丘二―四八―七
電話 〇二九(七四八)二五五二
FAX 〇二九(七四八)二五五二
e-mail: sugiura-info@sugiura-seikan.com

明祐工業株式会社

代表取締役 小林達生

東京都台東区雷門二―一四―九
電話 〇三(三三八四)一八五一
FAX 〇三(三三八四)一八五四

大阪製罐株式会社

代表取締役社長 清水浩一

大阪府東大阪市岩田町二―三―二八
電話 〇六(六七二二)五五四五
FAX 〇六(六七二二)三三七〇
e-mail: os-c@osaka-seikan.co.jp

中部製罐工業協同組合

理事長 池田祥三

愛知県瀬戸市安戸町一三一―八
電話 〇五六一(八四)四八五八
FAX 〇五六一(八四)四八五八

工又工金属工業株式会社

代表取締役社長 中田則彦

茨城県つくば市緑ヶ原四―一六
電話 〇二九(八四七)七二二〇
FAX 〇二九(八四七)六七七九

大日製罐株式会社

代表取締役 東郷洋次

東京都千代田区外神田二―一六―二
電話 〇三(三二二五)三二八一
FAX 〇三(三二二五)三二六六

明和金属工業株式会社

代表取締役 渋谷明彦

大阪府高石市取石七―一五―一六
電話 〇七(二二七四)一一〇一
FAX 〇七(二二七四)一一〇一
e-mail: shibux@meiwa-can.jp

奥村製罐株式会社

代表取締役 奥村康彦

京都府綴喜郡井手町大字多賀
小字西松ヶ花一
電話 〇七七四(八二)二〇七八
FAX 〇七七四(八二)四三二四

江戸川製罐株式会社

代表取締役 加島 裕

東京都江戸川区平井五―四六―九
電話 〇三(三六二二)四一三一
FAX 〇三(三六二二)五〇三四

東邦金属工業株式会社

代表取締役 澤田武史

東京都江戸川区松島四―三七一―六
電話 〇三(三六五四)八九一一
FAX 〇三(三六五四)七二二〇
e-mail: info@tohometal.co.jp

三国金属工業株式会社

代表取締役 辻 亘彦

大阪府豊中市豊南町西四―七―二〇
電話 〇六(六三三二)〇二五一
FAX 〇六(六三三二)〇二五五

下宮金属工業株式会社

代表取締役 下宮義弘

大阪府堺市堺区南島町三―丁―三一
電話 〇七(二二二二)八一四〇
FAX 〇七(二二二二)八一四〇
e-mail: info@shimomya.co.jp

暑中お見舞

申し上げます
(順不同)

日東製罐販売株式会社

代表取締役社長 安藤宏行
愛知県岡崎市宮地町字郷東三九
電話 〇五六四(五二)一五六一
FAX 〇五六四(五一)一五六三
e-mail eiyo@nitocan.com

エィコー株式会社

代表取締役社長 菊井 治
埼玉県草加市苗塚町五七七
電話 〇四八(九二)八三七三
FAX 〇四八(九二)八三七五

株式会社江連金属印刷所

代表取締役 江連 一
千葉県松戸市上本郷八一
電話 〇四七(三六)〇一三五
FAX 〇四七(三六)八七一五

三幸商事株式会社

代表取締役 武田有広
大阪府大阪市西区北堀江一―二―一四
電話 〇六(六五四)九三三一
FAX 〇六(六五四)三五八八
e-mail eiyo@steelsanco.jp

新高垣製缶株式会社

代表取締役 高垣悦夫
奈良県天理市永原町五五
電話 〇七四三(六七)三二二一
FAX 〇七四三(六七)三二四一
e-mail takagaki@shintakagaki-can.co.jp

高野興業株式会社

代表取締役社長 高野康弘
東京都墨田区本所一―二―一三
電話 〇三(三六)一一一六六
FAX 〇三(三六)一一一六四
e-mail takano@dance.ocn.ne.jp

大成ブリキ印刷株式会社

代表取締役 中田正和
茨城県稲敷郡河内町長筈富田四四六二
電話 〇二九七(八六)二二〇一
FAX 〇二九七(八六)二四二〇
e-mail taisai-honrya@alto.ocn.ne.jp

株式会社N・P・W技研

代表取締役 山本健士
三重県伊勢市佐八町八九四
電話 〇五九六(三九)一一三三
FAX 〇五九六(三九)一一三六
e-mail sales@npw-jp.com

株式会社東伸金属印刷工業

代表取締役 佐郷泰章
大阪府八尾市宮町三―四―一七〇
電話 〇七(一九)三〇九二一
FAX 〇七(一九)三三三九一
e-mail y-sagotoshin@eagle.ocn.ne.jp

善友金属株式会社

代表取締役 馬場康之
大阪府大阪市淀川区加島四―一―四四
電話 〇六(六三)四〇三二
FAX 〇六(六三)〇一一〇〇
e-mail baba@zenyu-kinzoku.co.jp

富安株式会社

代表取締役社長 伊藤潤一
東京都墨田区太平四―五―一五
電話 〇三(五六)一七七五一
FAX 〇三(五六)一七七五〇
e-mail shigerukubun@tomiyasu.co.jp

東都金属印刷株式会社

代表取締役 菅谷誠一
千葉県船橋市小野田町一五二―三
電話 〇四七(四五)七五六一
FAX 〇四七(四五)七二三八
e-mail totometal@nyc.odn.ne.jp

松本金属工業株式会社

代表取締役 松本勝俊
大阪府大阪市北区天満二―二―一八
電話 〇六(六三)三〇九四一
FAX 〇六(六三)三三九四九

日東金属工業株式会社

代表取締役社長 大久保八城
大阪府八尾市太田七―一六
電話 〇七(一九)四九六七一
FAX 〇七(一九)四九六七五九
e-mail nitokk@iazitkeeper.ne.jp

光工業株式会社

代表取締役社長 吉田 富美男
広島県東広島市志和町冠一―六五―二
電話 〇八二(四三三)五四〇一
FAX 〇八二(四三三)五四五三
e-mail ythikari@enjoy.ne.jp

中村商事株式会社

代表取締役 中村 定
東京都千代田区神田和泉町一―七―二
電話 〇三(五六八)五九一一
FAX 〇三(五六八)六一五五

富安金属印刷株式会社

代表取締役 菊井 治
埼玉県草加市苗塚町五七七
電話 〇四八(九二)一五八一
FAX 〇四八(九二)二六二〇

株式会社井上博商店

代表取締役社長 井上紀人
大阪府大阪市住吉区万代東一―一―四〇
電話 〇六(六六)九一一二五
FAX 〇六(六六)九一一二七
e-mail honshah@inouehiroshi.com

西部容器株式会社

代表取締役社長 川島 湊
大阪府摂津市別府二―三―一八
電話 〇六(六三)四九一六五一
FAX 〇六(六三)四九七二二八
e-mail info@seibyoutki.co.jp

山雄製缶工業株式会社

代表取締役 山本浩之
大阪府大阪市北区大淀中
電話 〇六(六四)五一―一―二四
FAX 〇六(六四)五一―〇八二一
e-mail seikan@yamayu.jp

明邦鋼業株式会社

代表取締役社長 田中 康
埼玉県越谷市新川町一―一―四五
電話 〇四八(九八)七〇七〇一
FAX 〇四八(九八)七〇七三〇

二橋プリント株式会社

代表取締役 二橋 英之
埼玉県三郷市彦川戸一―三八―六
電話 〇四八(九五)三二二六
FAX 〇四八(九五)三二四二
e-mail futahashi@kvp.bigebe.ne.jp

新キヨイ鋼業株式会社

代表取締役 渡邊 治樹
大阪府松原市三宅西四―一―四三―一
電話 〇七二(三三)二二一八一
FAX 〇七二(三三)二〇二五二
e-mail info@kiyoicorp.com

株式会社キャプテン

代表取締役 出崎 克
東京都中央区日本橋茅場町
電話 〇三(五六)一四四七五五
FAX 〇三(五六)一四四七七
e-mail info@captain-inc.com

株式会社ライトハウス

代表取締役 岩橋 久直
大阪府大阪市鶴見区今津中
電話 〇六(六九)六三〇四四一
FAX 〇六(六九)六八二二九八

スチールリーフ株式会社

代表取締役社長 茂木孝之
東京都葛飾区亀有五―四八―一五
電話 〇三(三六)二〇八〇三〇
FAX 〇三(三六)二〇八〇六〇
e-mail mogi@steel-leaf.co.jp

株式会社城北鉄力

代表取締役 竹腰 忠臣
千葉県野田市木間ヶ瀬二五〇―一―一
電話 〇四(七一)九八二六一一
FAX 〇四(七一)九八二七七九

是松鋼商株式会社

代表取締役 是松重敏
大阪府東大阪市楠根二―六―一三
電話 〇六(六七)四八二二六六
FAX 〇六(六七)四八二〇四〇
e-mail info_kosyo@korematsu.co.jp

金属印刷の品質工夫

きれいな印刷缶の製造は、製缶技術や印刷工夫など、いろいろな品質へのこだわりから始まります。今回は、金属印刷の品質工夫にスポットを当ててみました。

その1【品質安定のために】→【無窓化】

印刷工場に「窓が無い」ことなどで虫や塵の混入を防止。クリーンな環境で印刷することで異物の付着を防いでいます。また、外部からの光を遮断できることにより、常時安定した印刷を可能にしました。



その2【品質向上のために】→【保温庫】

ブリキ材や塗料・インキを、印刷する前に保温庫で「保温」することで、ブリキ材と塗料・インキの密着が安定。これにより、細かな文字や写真などを鮮明に印刷することができます。



協力/奈良メタルプリント株式会社
平和製罐株式会社

平成24年7月1日

一般缶の良さ・楽しさを発信します

全日本一般缶工業団体連合会 優CANレポート 第34号